

みなみきたかみうんが
【10】 南北上運河

1.概要

南北上運河は、旧北上川と鳴瀬川の河口を結ぶ北上運河の一部を成す運河であり、定川から西側の浜須賀橋までの約 2.2 km の区間である。（浜須賀橋西側から鳴瀬川までの区間は北上運河、定川東側から旧北上川までの区間は北北上運河）。

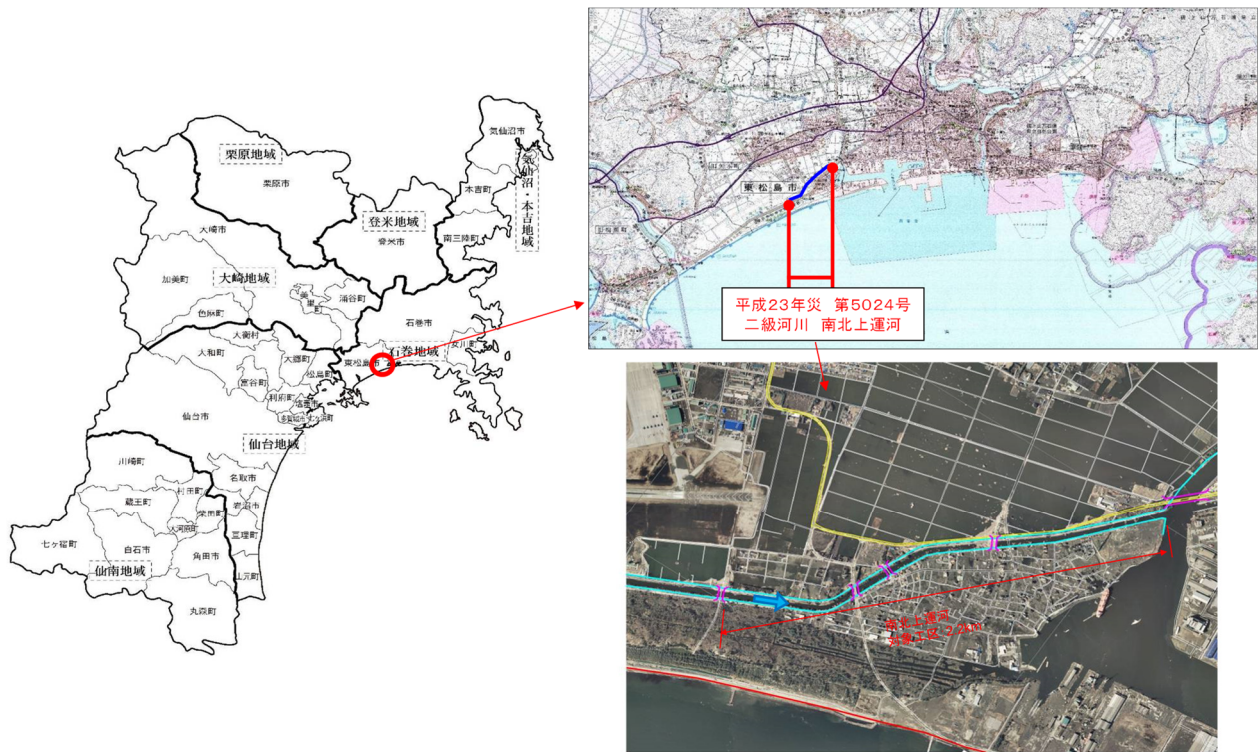


図 4-10-1 位置図【南北上運河】

2.震災後の状況

(1) 被災前後の状況

南北上運河の内陸側には田畑が、海側には大曲集落が広がっていたが、震災の津波によりで集落は壊滅的被害を受けた。また、運河堤防も全線に渡り堤体の崩壊や浸食の被害を受けた。



図 4-10-2 震災前後の南北上運河の状況【南北上運河】